

令和5年度優良業務

(土木関係建設コンサルタント部門)

業務名：日野地区土砂災害防止法基礎調査業務委託(その2)

受託者：株式会社荒谷建設コンサルタント鳥取支社

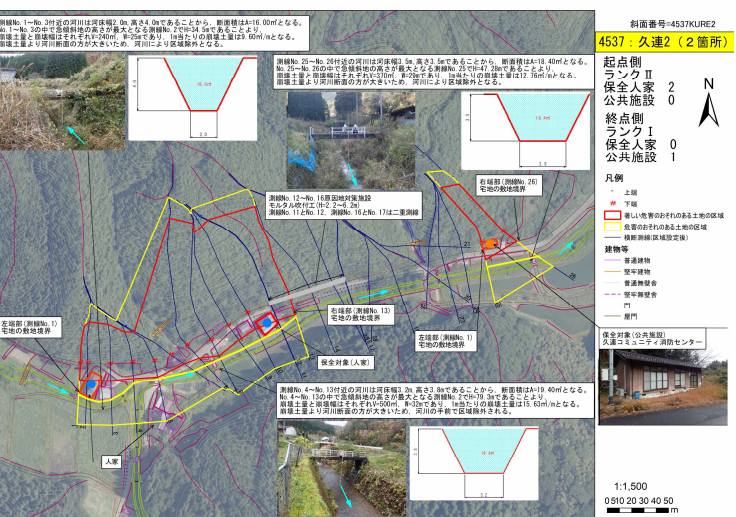
管理技術者：西村 悟之

【現地調査工程表(進捗状況によりその都度工程を調整した)】

町名	字名	立入了解状況	箇所番号	箇所名(仮)	現地調査	10月					11月					12月								
						5	10	15	20	25	30	5	10	15	20	25	30	5	10	15	20	25	30	
江府町	久連	11/18県より説明済	4535	久連1	11/28 終了																			
	久連	11/19地区内回覧済	4537	久連2	1.5日																			
	久連	11/25電話にて連絡済み	4540	久連4	0.5日																			
	佐川	11/15県より説明済 立入届必要	4564	佐川	11/29 終了																			
	深山口	11/7県より説明済み 11/11電話にて連絡済み	4586	深山口	11/16 終了																			
日野町	高尾(後谷)	11/2県より説明済み 11/11電話にて連絡済み	4640	高尾1	11/14 終了																			
	高尾	11/1県より説明済み 11/3電話にて連絡済み	4654	高尾6	11/9 終了																			
	本郷(下本郷)	11/1県より説明済み 11/13電話にて連絡済み	4662	本郷	11/15 終了																			
江府町	武庫	11/16県より説明済み 地区への回覧は21日 11/26電話にて連絡済み	4670	武庫	11/28 終了																			
日南町	福万来	9/21県より連絡済み 10/13電話にて連絡済み	4695	福万来	10/5 終了																			
	佐木谷	9/21県より連絡済み 10/13電話にて連絡済み	4711	佐木谷	10/6 終了																			
日野町	中管(新江・南)	10/18県より説明済み 10/22電話にて連絡済み	4743	中管	10/25 終了																			
	中管	10/5県より連絡済み 10/14電話にて連絡済み	4749	中管	10/17 終了																			
	中管	10/13県より説明済み 11/3電話にて連絡済み	4761	中管	11/7 終了																			
	中管(中管中央)	10/13県より説明済み 10/24自宅へ伺い説明済み	4763	中管	10/26 終了																			
	黒坂	10/5県より連絡済み 10/17自宅へ伺い、説明済み	4773	黒坂	10/19 着手 10/25 終了																			

積雪地であることから、年内に現地調査を終了させるよう、綿密な工程管理を行った。

【協議資料(区域設定根拠図)の一例】



- 委託場所：日野郡江府町久連外
- 工 期：令和5年7月31日～令和6年3月20日
- 委託概要：本業務は、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づく基礎調査を行い、土砂災害警戒区域(イエロー区域)及び土砂災害特別警戒区域(レッド区域)に指定するための公示図書等を取りまとめたものである。
- 委託金額：6,702,300円



管理技術者 西村 悟之

(コメント)
本業務に当たっては、次の方針で遂行しました。
 1. 延滞のない業務工程
 2. 業務中に生じた課題の抽出と対応
 昨年8月の豪雨災害対応等、履行期間に限られた中、調査箇所をゾーニングした総合工程表を作成し、地元関係者とより一層十分かつ綿密に調整を図ったうえで業務を遂行しました。
 また、区域設定の元となる基盤図の精査や現地調査結果の課題を抽出し、対応策を速やかに提案し、早期課題解決に努めました。
 この度の受賞は本業務関係者の協働の結果と受止めています。今後も、公共事業に携わる技術者として、業務で求められていることを理解し、適正な成果を納めることに注力し、地域社会に貢献できるよう尽力致します。

令和5年度優良業務

(土木関係建設コンサルタント部門)

業務名：県道岸本江府線(袋原大橋)外橋梁点検業務委託(補助)

受託者：株式会社 ヨナゴ技研コンサルタント

管理技術者：前濱 昭生



チェック、訂正箇所も一覧で確認

打合せ事項や疑問点は図なども利用し明確に！！

前回点検との変化やその内容を一覧表に最終報告書では、留意すべき点を簡潔に橋梁毎にとりまとめ

- 委託場所：日野郡江府町吉原外
- 工期：令和5年8月23日～令和6年3月4日
- 委託概要：本業務は、鳥取県の管理する日野県土整備事務所管内の橋りょうのうち23橋を対象として橋りょう定期点検を実施したもの。橋りょう定期点検は日常では目に触れない箇所も含めて点検し**道路利用の快適性・健全性を保ち**、道路周辺も含めた事故を未然に防ぐために5年に1回実施する。また、**経済的な維持管理**を行うための基礎資料(性能の維持や効率的な補修)のための基礎資料を得ることも目的としている。
- 委託金額：8,552,500円(税込み)

【問題点・工夫した点】

- ・点検様式は定められていますが、細かな運用上の差異が過去点検記録との対比を難解としている箇所もあるため、業務開始時に同時期同一業務を実施している他社を含めて合同打合せを行い統一的な運用を行いました。
- ・過去の点検記録とどこが異なっているか、変化の内容を対比一覧表にまとめ劣化の箇所や進行具合が容易に識別できる工夫を行いました。
- ・早急な補修が必要な橋梁以外にも、主要部材に影響のある損傷を優先順位の判断材料にあるようにとりまとめました。
- ・その他、複合的な要因の劣化やその内容について、帳票では判別しにくい事項を報告書内に特記事項として抜粋しました。

今回の受賞は、業務に直接かかわった皆様のみならず地元の皆様のご協力があってこそだと感じています。橋りょうに限らず公共施設は国民一人一人の財産です。その財産を守る仕事はとてもやりがいがあります。また、古い施設では想像もできなかった先人たちの知恵を目の当たりにします。これって、わくわくしませんか？
地域に貢献でき、やりがいのある仕事、それが私たちの仕事だと考えると、苦労分を差し引いても最高です！

管理技術者 前濱 昭生

令和5年度優良業務

(土木関係建設コンサルタント部門)

業務名：県道如来原御机線(御机大橋)外橋梁点検業務委託(補助)

受託者：株式会社ワーパス

管理技術者：三井 翔星



点検状況

橋梁点検車による点検

高所作業車による点検

打音調査

点検調査へ調査結果を記入(JR成果と合体)

橋梁毎の所見を整理

前回点検との対比ができるように整理

将来ここを補修しよう!

補修の優先順位を整理

- 委託場所：日野郡江府町御机外
- 工期：令和5年8月23日～令和6年3月15日
- 委託概要：本業務は、鳥取県（日野県土整備局管内）が管理する道路橋梁のうち、14橋を対象として定期点検（5年に1度）を行い、道路利用者等への被害防止を図るとともに、効率的に橋梁の維持管理を行うための必要な情報を得ること、第三者被害予防のための応急措置を行うことを目的とする。
- 委託金額：6,958,600円

【橋梁の健康診断を実施しました】

- ・本業務では、河川やJR線路上に架かる橋梁の定期点検（5年に1度）を行いました。
- ・点検には、橋梁点検車、高所作業車、梯子などを使用し、近接目視によりコンクリートおよび鋼材の劣化状態を確認しました。
- ・点検結果は図や写真とともに記録し、今後の維持管理や維持補修工事の参考となるようにとりまとめました。

最後に

この度、優良業務に選出いただき大変嬉しく思います。発注者、会社の上司・同僚など、多くの皆様のご協力があったからこそ結果だと思っております。橋梁は、皆様の生活や経済活動になくてはならない重要な財産です。今後も橋梁等のインフラを守るための適切な点検を行っていきたいと思います。

管理技術者
三井 翔星(34歳)

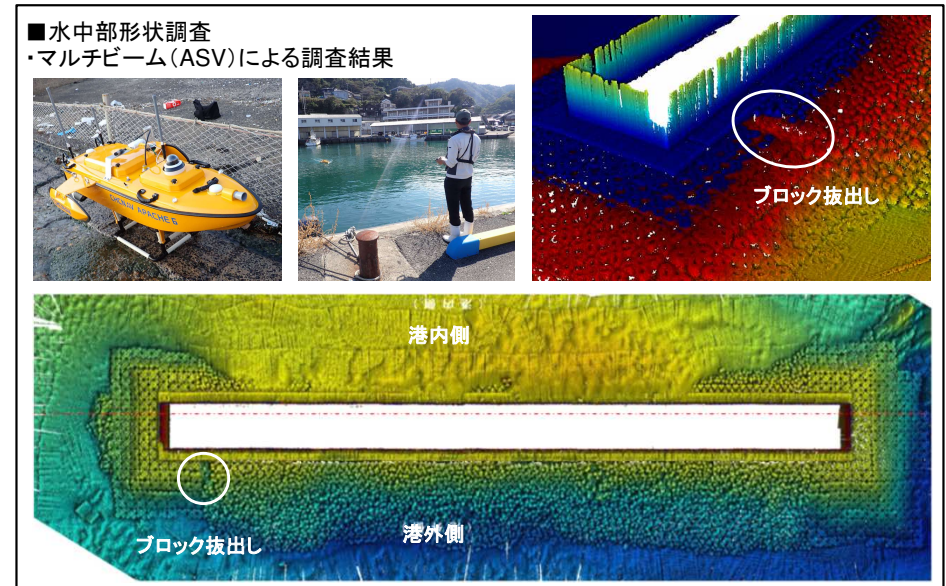
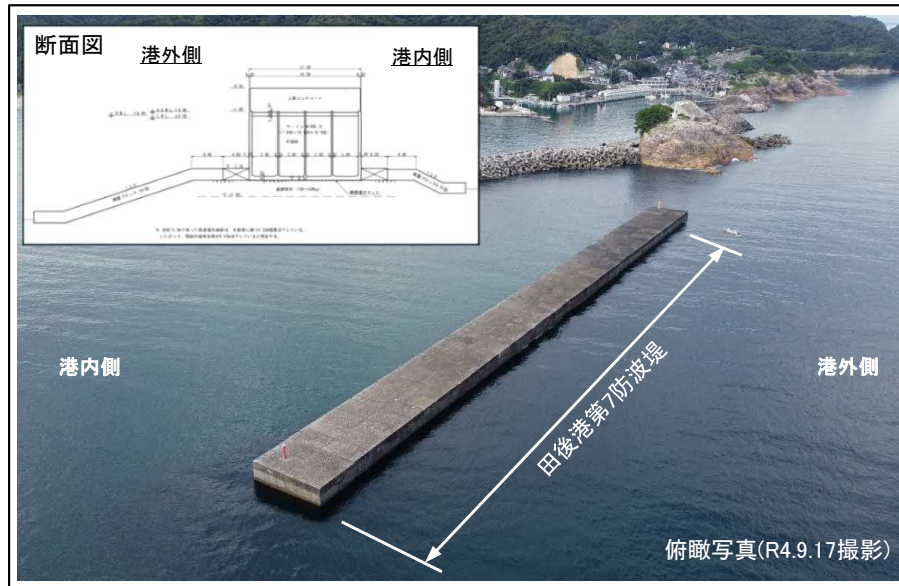
令和5年度優良業務

(土木関係建設コンサルタント部門)

業務名：田後港第7防波堤調査設計業務委託(交付金)

受託者：株式会社エイト日本技術開発

管理技術者：山本雅行



- 委託場所：岩美郡岩美町田後
- 工期：令和4年8月12日～令和5年5月31日
- 委託概要：本業務は、平成30年度に実施された一般定期点検の結果、“施設の性能が相当低下している状態”と判断された田後港第7防波堤について、詳細臨時点検を実施し、補修予備設計を行ったものである。
- 委託金額：18,694,500円



管理技術者
山本雅行

(コメント)

海中部の調査は、潜水士による直接点検が基本ですが、対象施設が沖合の防波堤であり、基礎工においては水深が10mを超える範囲もあったため、波浪等の影響によって調査が長期化することが想定されました。そのため、本調査では、短時間で施設周辺の海底地盤や被覆ブロックの状況を3次元データで取得可能なマルチビーム(ASV)の活用を提案しました。

その結果、海底断面の作成も可能となったことから、被覆ブロックの変状の他、基礎工の沈下や海底地盤の侵食・堆積状況も精度よく把握でき、波浪影響も適切に評価できたため、その後の対策検討もスムーズに行うことができました。

上記の提案によって、現地調査の効率化を図ることができ、調査期間はもとより、その後の対策検討も含めて工程が短縮できたことで、要求期間内に業務を完了することができました。

どの項目についても、理解しやすく納得できる資料となるよう社内検討を繰り返しましたが、その結果が評価されておりありがとうございます。